

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

「2018年3月ダイヤ改正」検証に関する申し入れを行う

2018年3月ダイヤ改正は、提案から実施までの準備期間が短い中実施されたダイヤ改正でありました。我々働く側として「安全・安定輸送の確保」「お客さまの利便性向上」を通じたお客さま満足の向上は、労使の議論無くして成し得ることはできません。

今夏、日本国内は連日連夜猛暑日が続き、熱中症や体調を崩す方が後を絶たちません。それは私たち組合員も同様です。「究極の安全」を成し遂げるためには労使が両輪となってともに万全の態勢の中誠実かつ真摯な議論を行う事が唯一の道であります。そのためには作業ダイヤも含め余裕をもった運用が大切です。

そのような視点で2018年3月ダイヤ改正を検証した結果、多くの問題点が組合員から寄せられました。この間の未解決の問題点も含め要求にまとめ、下記の通り横浜支社に対し、8月3日に申し入れを行いました。

【 申し入れ項目 】

【共通】

- 1、運用行路表(他支社関係を含む)、運行図表、交番順序表、準備時間一覧表をプレス発表前までに提示すること。
- 2、標準数については、各種委員会、各種訓練、各種研修、各種セミナー、育児休職、介護休職、静養休暇等加味して算出し、要員を確保すること。
- 3、食事を取り得る時間として実質朝30分以上・昼夕40分以上を確保すること。
- 4、睡眠を取り得る時間として、実質4時間30分以上確保すること。
- 5、乗務員行路についてB・C運用の持ち替えを他支社(他区)と出来るようにすること。
- 6、新宿駅埼京線ホーム(1~4番線)について安全確保の観点から朝夕通勤時の混雑緩和対策を図ること。

区別の申し入れ内容は、各分会発行の情報を参照して下さい。